

# 野外体験学習 実施報告（北海道 長沼班）

文筆：情報技術科 岡部圭吾

情報技術科・普通科

平成23年10月23日（日）情報技術科と普通科の合計4クラス139名は大きな荷物を持って午前6時45分、ファームステイ先の北海道長沼町に向けて学校を出発した。北海道までは伊丹空港から飛行機で1時間45分。快適な空の旅を楽しんだ。北海道に到着すると天候はあいにくの雨であった。生徒達は対面式を控えて緊張した様子であったが、長沼町の人達にあたたかく迎えていただいたことで緊張がほぐれた様子であった。その後、各農家の家へと分かれ2泊3日のファーム体験をスタートさせた。2日目、各家を巡回してみると生徒達はイキイキとした表情で農作業をこなしていた。都会では体験できない作業内容であったので生徒は新鮮に感じている様子であった。



3日目、貴重な体験をさせていただいた長沼町の方々と退村式で別れた後、富良野にある空知川ヘラフティングをする為に移動した。天候は雨模様であった、その影響から川の水は増水し流れも激しかった。陸地でインストラクターの事前指導を受けた後迫力のあるラフティングを生徒達は楽しんでた。4日目の最終日も天候は雨。気温もぐっと下がり冷え込んだ中での旭山動物園の見学となった。ドラマや映画で有名になった旭山動物園は体験展示や動物の目線での鑑賞や動物の活動の様子をリアルに表現している展示など見どころがいっぱいであった。最後に今回の野外体験学習を通じて生徒達は北海道の大自然の中でファームステイを体験できたことは一生の宝物となり、この事から人として一回り大きく成長できたのではと思っている。



## 野外体験学習 報告 【沖縄班】

文筆：機械科 山下浩司 片牧勇二

機械科 2 年生 166 名は、神戸空港から沖縄県へ行き、野外体験学習を実施しました。初日は、世界文化遺産である「首里城」で沖縄の文化を学び、「嘉手納基地」を見学後には、バスガイドから戦後の歴史についても教えていただきました。その後恩納村で宿泊する「ホテルムーンビーチ」に向かいました。ホテルから見える夕日の鮮やかさに、生徒は感動をしていました。2 日目の午前中は「マリンスポーツ体験」を実施し、沖縄の透きとおった青い海を満喫しました。

午後からは南城市へ移動し、今回のメインである「ファームスティ」を開始しました。入市式では、歓迎の踊りである「琉球舞踊」で私たちを迎えていただきました。各家庭と対面した時は、生徒は緊張した面持ちでした。民泊の初日は、自己紹介から始まり、沖縄文化や歴史の話聞き、改めて沖縄へ来た事を実感していました。

民泊 2 日目は、各家庭においてそれぞれの体験学習を行いました。沖縄県の農業である「シークワサー」の植え付けや、沖縄の伝統芸能である「三線」「琉球舞踊」、漁業では「もずく漁」など、さまざまなことについて班ごとに体験しました。生徒は真剣な顔つきで体験学習をしており、中には顔が泥まみれになる程、一生懸命に作業をしていたり、汗をかきながら海水を含んだ重たい網を引き揚げたり、

同じ高校生がいる家庭においては伝統芸能を丁寧に教えていただいたりと、様々な作業を経験し、家庭では親子・兄弟同然の扱いをしていただきました。作業後の夕食では、沖縄料理を堪能しながら、話題が尽きることなく、「家庭の温もり」を感じながら、夜遅くまで家族の方々と会



話を楽しんでいました。

そして民泊最終日、帰路へと向かう日を向えました。退市式ではお世話になった家族が見送りに来ていただき、生徒と離ればなれにますが、民家方々は「行ってらっしゃい!」と言葉で送ってくださった。生徒達はその言葉に感動をしていました。

今回の野外体験学習で、生徒の違う一面が垣間見れ、大変良い体験学習ができました。この体験から人間的に「一回り成長」できたのではと思います。

## 野外体験学習報告

### 北海道日高班〈電気科・機械電子科〉

文筆：機械電子科 大高友照

平成23年10月23日北海道日高班157名は、朝6時30分集合にもかかわらず、元気よく出発しました。初日、生徒はバスや飛行機での移動で疲れているにもかかわらず、ノーザンホースパークにて各自レクリエーションを楽しんでいた。

二日目から体験学習に入った。午前中は空知川にてラフティングを行った。

ラフティングを行う前は「寒いのではないか」や「本当に面白いのか」と疑っている生徒もいたが、終わってみると「面白かった」、「またやってみたい」と大半の生徒が喜んでいた。

午後より、浦河町体育センターにて入村式を行い、各ファームステイ先にてお世話になることとなった。

日高では、大規模のファームステイを行うことが初めてということで、大変歓迎していただいた。ファームステイ先の体験は、漁業体験では船で出かける生徒、牛の乳しぼりをする生徒、農作業を手伝う生徒と様々であった。どのファームステイ先に言った生徒も、退村式のときには普段体験することができない貴重な体験や、貴重な話が聞けたと喜んでいた。

この野外体験学習を通して、生徒の行きと帰りの反応の違いにびっくりしている。ファ



ームステイ後の生徒は生き生きしていたように感じた。この度の野外体験学習で、生徒たちは、北海道の食べ物の美味しさや広大さに触れ、また現地の方の温かさに触れることが出来、これが一生の宝物になったのではないかと感じている。

